

学習進路通信

2024年度 第5号

2月3日発行

文責／学習進路部



新学年「0（ゼロ）学期」

2024 年に入って1カ月が経ちました。2 月の初めには中学入試に伴う家庭学習期間があり、3 月の初めには学年末考査があるため、みなさんの今年度の授業も実質的にはあと1カ月です。

教育界では3 学期のことを「0（ゼロ）学期」と呼ぶことがあります。これは、この時期が現在の学年の最終学期であるとともに、新しい学年を迎えるための「助走」の時期に当たると考えられるからです。

2012 年にノーベル医学賞・生理学賞を受賞した山中伸弥博士の言葉として知られているものに「高く跳ぶためには、思いっきり低くかがむ必要がある」という言葉があります。これは、高い目標を目指すためには準備が必要であるという意味の言葉です。英語の諺の「One must draw back in order to leap better」という言葉も同様の内容を伝えたものと考えられます。

年度の締めくくりのこの時期を、春からの新しい1 年を飛躍の年にするための助走期間として自分の足場をしっかりと固めましょう。



学習・進路支援の取り組み報告

中1

■冬期自習室開放&数学補習講座開講

12 月の家庭学習日には提出物スペシャルとして課題が終わっていない生徒を中心に、学校に来て課題ができるよう自習室を開放しました。また、期末考査の結果からステップアップにお手伝いが必要な生徒を集め、数学特訓を行いました。冬期講習期間中には改めて自習室を開放し、3 学期に向けての不安を解消しました。教室は連日意欲ある生徒でいっぱい、お互いに教え合い、課題の確認をする姿が多くみられました。

■朝学習&終礼前学習

朝学習のラインナップに「かるこんへの道(計算特訓)」と関数トレーニングを加え、計算力向上に努めました。今まで通り SEL や思考力・読解力も続けています。すぐに結果が出るようなものではありませんが、じっくりと 取り組み基礎学力を向上させていきます。

■11 月 15 日 英会話カフェ開催

HR の時間を使って「とにかく英語を使おう」をコンセプトに英会話カフェを開催しました。一般クラスの生徒 3～4 名+クロスカルチャークラスの生徒 1～2 名を1 グループとして「自己紹介」から始まるフリートーク。事前に見た「出川 English」を参考にとにかく「自分の伝えたいことを英語にする」のを頑張りました。開

催前は拒否反応を示していた生徒も、終わってみれば気持ちは「楽しかった」「やればできる！」に変わっていました。時期は未定ですが次も回開催予定です。

■12月13日 CALCULATION CONTEST 開催

クラス+教員チーム対抗で計算コンテスト(通称かるこん)を開催しました。朝学習で鍛えた計算力を生かした結果、なんと平均 76 点！最高点は 97 点でした！この記録は昨年度の同時期の得点を上回っています。次は上級生に挑戦を考えています。

■1月9日 学年集会「3学期 kick off」

中学受験は遠い話となり、大学受験もまだまだ遠く・・・中学1年生3学期はなんとなく気が抜けた生徒が出てきてしまう時期でもあります。そんなもったいない時間を作らないために「中学2年生0学期」と捉え、「どのように学校生活を送りたいか・どのような学校にしていきたいか」を考える機会を持ちました。行動が現実を変えんということをお伝えしたので、生徒の積極的な行動につながることを期待しています。

■放課後講習が始まります

「数学チャレンジ」「サザエを解剖しよう」「TOEFL 講座」などの講座が開講されます。申し込んだ意欲ある生徒たちはさらなるレベルアップを目指したり、未知なるものに挑戦するチャレンジ精神を発揮したりしています。放課後学習は1日以上となりましたが、その分部活や個人の取り組みに時間を使えるようになりました。部活後 SSI でしっかり勉強してから帰宅する生徒もたくさんいます。

中2

■総合学習の取り組み

2 学期の総合学習のメインテーマは「マイオピニオンコンテスト」の準備と発表でした。「マイオピニオン」とは私の主張です。社会問題や世

の中で話題になっていることをテーマにし、賛成、反対両方の主張を解釈し、自分はどちらの立場を取るか決めて 1000 字程度の原稿を作成しました。持ち時間は1人3分です。クラス内予選は全員が発表者であり、審査員です。4 週をかけて予選を行い、クラス代表を決め、12 月 1 日に本選を講堂で行いました。審査員の先生方から講評を頂くことが出来ました。今後の探究活動の糧となることでしょう。3 学期は来年度のチャレンジクラスごとの活動となります。

■今年もやります!ビブリオバトル

今年度は冬休みの課題のブックレポートを元に朝学習の読書の時間を使ってビブリオバトルの準備をしています。話題作あり、純文学ありと選んだ本は様々です。ドラマエデュケーションやマイオピニオンコンテストで培った表現力でどんな発表になるのか楽しみです。こちらもクラス内予選を経て3月に本選を行う予定です。

■今年の決意を展示しました

いよいよ中学3年生、義務教育最終学年です。中学最上級生としてどう在りたいか、どう在るべきかじっくり考え、色紙にしたためました。

■CALCULATION CONTEST 開催

12/13 に、計算コンテスト(通称かるこん)を開催しました。学習したばかりの因数分解・平方根までを範囲としましたが、平均点は 73.6 点、最高点は 98 点と大変ハイレベルの戦いとなりました。入学当初から継続している計算の朝学習や、数式の意味をきちんと理解して取り組む(=勢いだけで解かない)という姿勢が成果を結び、計算力に自信を持てるよう成長しています。

中3

■中学3年生の「学び」

今年度、中学3年生は、様々な事にチャレンジしました。その様子の一部をご報告します。

中学3年生は、マイチャレンジ、科学研究チャレンジ、英語チャレンジプログラムの3つにクラスが分かれています。プログラム毎に特色ある教育活動が行われていますが、今年度は、それぞれのクラスの枠に囚われず、学年で共通した指導を行なっています。

中学3年生では、道徳(華道・地球村への10のステップ)の時間があります。華道の授業を迎える前に『茶の本』を読むなど、生活に対する姿勢と学習活動とを繋げてきました。

そして、英語の重要性と進路選択についての方向づけマインドの育成を行なってきました。全員が英検3級以上を取得することを達成できそうです。

進路については、社会の在り方の変化や産業界の動向等と大学入試との関係をチェックしながら、一般入試で都内の大学のみを志望するのではなく、海外大学進学と地方大学へも選択肢を増やす働きかけを、学年通信を使って情報発信しています。

また、自分の志を実現する進路選択ができるように、5教科の学習は当然のこととして、学研のテキストを用いて、小論文を扱いました。1月には、グループディスカッションを行いました。日々の授業を通じて得た確かな知識を基に、それを他者に対して発信できるよう、活動しています。

さらに、進路の多様化の傾向を踏まえ、読書活動も併せて、今から多角的な指導を実施しています。今後の社会変化を示すものやルッキズムなど最近の話題にも注目し、日本で1番目に学校課題図書として選定される図書を選んだり、小論文対策も兼ねた図書(表現→『中学生からの作文技術』、論理→『それゆけ! 論理さん』、内容→『マンガでわかる! 小論文 頻出テーマ編』)を選んだりしました。表現のことも学んではきましたが、「書き方」よりも、書く中身についての思索を深めることに、力を入れています。

■「株の力」の実施

総合的な学習の時間を使って、「株の力」について学びました。実施にあたっては、三菱UFJ モルガンスタンレー証券の方に、実際に来ていただきました。全5回の授業を通じて、

「株の力」を表現する広告を作成しました。個人が株式投資を行なうことの「旨み」はもちろんのこと、株式投資を行なうことの社会的意義について、講師の話に真剣に耳を傾け、広告を作成することを通じて、主体的に理解することができました。

特に優れた広告を作成した2つの班は、12/28にUFJ モルガンスタンレー証券本社にて、本社員(社長さんも!)の前でプレゼンを行ないました。

■CALCULATION CONTEST 開催

12/13に、計算コンテスト(通称かるこん)を開催しました。前回の内容に平方根を加えたものとなっていました。平均点は69.4点、最高点は95点でした。引き続き、毎週木曜日に行なっている数学の朝学習等の機会を活用して、更なる向上を目指します。

■ドラマエデュケーション開催

12/14に、ドラマエデュケーションを実施しました。A~D組は、「椅子立ちゲーム」(椅子に座っている人を、セリフをやりとりしながら、「立たざるを得ない」状態に持っていくゲーム)を、E~G組は、「こんな〇〇は嫌だ!」を挙げつつ、そこから「それをハッピーエンドにする」劇を創作しました。活動しながら、生徒たちは、他者の立場に立って物事を考え、それを外に発表することの大切さを学ぶことが出来ました。

高1

■東北大学工学系出張講座

12月13日に、高1理系進学者を対象として東北大学工学系出張講座を実施しました。

国内屈指の研究力を誇る東北大学から、工学研究科准教授の志田原美保先生と工学系女性研究者育成支援推進室の山本美香様にお越し頂き、大学の紹介および医工学の模擬講義をして頂きました。

志田原先生は、ご自身が東北大学に進学された経緯も交えながら、医工学の学びについて生徒目線で分かりやすくお話してくださりました。

生徒からは予定の時間を過ぎても多くの質問が挙がり、理系進学を志す生徒にとって大変貴重な機会になりました。

■模試への取り組み(継続)

・過去問の課題

1 学期より模試の過去問を国語・数学・英語の授業の課題として設定し、全員が過去問を2年分ほど取り組めるようにしています。各教科1月実施のベネッセ学力テストに向けて過去問の課題を設定して、生徒が取り組みました。

・模試振り返り

11 月実施のベネッセ学力テストを振り返りシートを使って、12 月 9 日(土)に模試返却の際に振り返りをしました。生徒が各教科の問題の難易度別に自分の得点を集計し、自分たちがどのレベルの問題を中心に復習・対策すれば良いかを確認しました。模試では満点を取る必要はないので、自分が目指す学力ゾーン (GTZ) へ到達するために勉強するモチベーションアップにもつながりました。

■mini zap と math zap (継続)

英語科より、自習プリントとして mini zap を朝礼時に配布しています。また、授業中にあまり触れることができない文法やフレーズを練習するためのもので、5 分で終わるので、気軽に取組むことができます。このプリントを通して、生徒の復習を促進しています。

また、数学科より、同じく自習プリント math

zap を配布しています。現段階でできるようになってほしい数学 I A の問題をピックアップし、朝礼時や冬休み中もクラスルームで定期配信しました。

■進路達成プログラムについて

文理選択が終わり、自分の進路についてより深く考えるために 12 月より進路達成プログラムを実施しています。志望校を具体的に考えていく過程で、自分の適性や進路の選択基準を具体化するきっかけ作りとして、本プログラムは位置づけられています。

12 月にはマナビジョンを使って、生徒は現時点での志望校・志望系統を登録し、自分の強みとこだわりが分かるアンケートの「エンゲージメント診断」を行いました。続いて 1 月 12 日(金)に実施した進路講演会では、エンゲージメント診断から、自分の志望校へのこだわりや高マッチングの大学・学部が明示された結果を見ながら、自分の強みを整理し、気になった大学をまとめました。

自分の強みや志望校へのこだわりは意識できていないものも多いので、本プログラムはたいへん参考になりました。この後、生徒は志望校の候補を比較検討し、より具体的に自分に合う志望校を考えます。また、志望校が明確になるにつれ、合格のために質の高い学習をする必要があることを確認しました。

■ブートキャンプについて

12 月 25～27 日に国立オリンピック記念青少年総合センターでブートキャンプを実施しました。文理選択後の進路に向けて意識を向上させ、時間などの自己管理や学習方法、学習習慣を身につけることが目的の行事で、学年全員が参加しました。

1 日目にはスポーツドクターの辻先生から講演をしていただき、「自分の機嫌は自分でとる」ことで自分のパフォーマンスを上げられること等を学びました。ご機嫌でいるためのテクニック

や考え方も教わり、生徒たちは目の前の学習に集中するために実践できていました。

1日目午後から3日目にかけて、自習（45分）・振り返り（5分）・休憩（10分）を1つのサイクルとして、教科を入れかえながら生徒たちは学習に励みました。毎回自習の前に45分間の学習の目標をたて、自習後に振り返りを行うことで、生徒たち目標の立て方や学習方法をブラッシュアップさせることができました。このPDCAサイクルを意識した学習を、3日間合計で約520分の学習ができました。

3日目の午前には、OGを招き、座談会形式で進路や学習のことについて話すことができました。様々な学部学科のOGから貴重なお話があり、話す内容をフリップやPowerPointでまとめたOGも多かったので、内容も分かりやすく、生徒にとって大変参考になりました。

最後には紙の絵馬に自分の2024年の目標を書き、周囲の友人と共有することで、お互いに自分の目標の達成に向けてモチベーションが上がりました。ブートキャンプで得たことを活かして、3学期や高校2年生以降の学習につなげていく意欲を持った生徒が多かったです。

高2

■英語週末課題の実施

学年の英語科より週末課題を配布しています。こちらは高校英文法を体系的に学習することを目的としています。教員の解説動画をセットで配信し、英文法を体系的に学んだ後に演習問題に取り組みます。基礎的な問題からハイトップ向けの問題までを含み、幅広い学力層に向けた課題となっています。

■大学研究ワークショップの実施

様々な大学の歴史や学びの多様さについての情報を得て、知っている大学（80大学・学部学科）を増やすことで、幅広い進路選択につなげられるよう実施しました。

班ごとに作成したワークシートは、現在リフ

レッシュコーナーに掲示してあります。



■文理別学習ガイダンスの実施

高2の冬から高3にかけての受験勉強についてのアドバイスを各教科の担当者から集め、まとめた冊子を配布しました。自分のこれからの学習の見通しを立てる良い機会になりました。

■自学室・質問室の設置

2学期末考査後の家庭学習日や冬休み期間に学校で学習に取り組みたいという生徒に対応するため、個別自習室およびグループ学習室（各2教室）、質問室を設置しました。学校ではスマートフォンやテレビから離れるので集中しやすい、友達と一緒に登校するとやる気が出る、勉強がはかどるといった声がありました。

■冬休みの学習

～Study Log および冬期 Boost Program の実施～
冬期講習が実施された12/25～27の期間、冬期ブーストプログラム（12/25-27）は高2学年全員を対象とした勉強企画でした。冬期講習参加、もしくは学校で自学をした生徒（148名）、自宅で勉強した生徒、塾で頑張った生徒、5教科の学習ばかりではなくて音楽や美術・運動の実技技能向上に力を入れた生徒もいました。大事な高2冬休みの過ごし方を自分で選んで全力を尽くすことを目指し、その努力を視覚化するためにStudy Logのプリントを配布し、冬休み期間の学習時間記録をつけました。なかには、枠いっぱいの200時間を超えた生徒もあり、冬休み中の

努力が見えました。

【生徒の感想】

- ・冬期講習があると、自然と朝早く起きることになるので、朝から夕方まで勉強できてすごく時間を有効活用できた。
- ・普段学校がある時は朝早く起きて勉強していたのでこの冬季講習期間もそのように生活し、勉強時間が格段に増えた。
- ・受験モードに切り替えている友達の姿を見て、刺激を得た。思いのほかいろんな人が一年後を見据えて行動していることに焦りを感じたが、私も今やるべきこと、課題を講習に参加することで明確化でき、充実した3日間だった。
- ・私は今まで1日に8時間や9時間勉強することがあまりなかったので、3日間でそのくらい勉強して、受験生の勉強時間に慣れられたと思うし、自分の勉強のペースがつかめた。
- ・8コマフルで取ったのはとても厳しかったが、三日間走り切った後の達成感はやはり8コマの人にしか味わえないと思った！！
- ・スマホはリビングに置き、自分の部屋に勉強の妨げになるものをなくしたため、集中して勉強をすることができた。

高3

■共通テストプレを実施しました

12月25～27日に共通テストプレを実施しました。

今年度は採点システムを導入し、自己採点と実際の採点が正しいかどうか確認をとれるようになりました。

25・26日は本番の試験と同じ時程で行いました。休み時間の過ごし方を含めて、最後まで集中力を継続することの難しさ、本番前に大変参考になったという声がありました。

27日は、結果を返却し英・国・数の解説授業、および受験科目の質問会を実施しました。解説授業では採点結果をもとに、さらに伸ばせるポイントを重点的に解説しました。

年内最後の実力試しとして活用できたという

声が多く聞こえました。本番の試験に向けて貴重な機会になったと思われます。

■共通テスト自己採点および結果ガイダンスを実施しました

1月13・14日に行われた共通テストの自己採点を15日に実施しました。今年度から点数の入力がオンラインとなりました。結果をいち早く自分自身でもみることができるようになり、併願の作戦を自分自身で考える上で大きな材料となりました。

19日には、集計結果をもとにガイダンスを実施した上で、担任との面談を通して出願作戦の再検討をしました。

自分自身でも結果がみられるようになりましたので、主体的に併願作戦を考える生徒も多くみられました。

今後とも、一人ひとり力を発揮し、自らの志を実現できるようサポートを続けていきます。

高大連携プログラム

学習院女子大高大連携平和教育プログラム（第2回）を実施

11月8日、学習院女子大学 国際交流文化学部 教授の畠山圭一先生による中学生を対象とした平和教育プログラムの第2回を実施しました。



今回のテーマは「平和とは何か」です。個人の心情としては平和を望まない人はいないにも

関わらずなぜ平和の実現が難しいのかについて、国や民族、宗教による「平和」に対する定義の違いを歴史的にたどりながら学びました。

「平和とは自然にもたらされるものではなく、国家間に膨大な努力とコストをかけて作り出すものだ」「尊厳のある生き方とは何かを自分に問いかけることが大切だ」といったお話は、生徒たちの心に強く印象に残ったようです。

今回のプログラムが、生徒それぞれが「戦争」と「平和」についてより深く考えるきっかけとなれば幸いです。

高大連携プログラム

金沢大学 大学・入試説明会を実施しました

11月15日、金沢大学の入試説明会を実施しました。地方国公立大学による説明会の実施は、本校では初めてとなりました。

今回は、金沢大学の入試・学生募集を担当されている 本田光典教授に zoom でご登場いただき、説明をいただきました。

地方国立大学の魅力や、金沢大学の入試状況、特別な入試方式などについてお話いただき、本校生徒の進路選択の幅を広げていくことになりました。



学習進路部では、今後も研究力の高い全国の大学を紹介していく予定です。地方大学の魅力を伝える資料を作成いたしましたので、ぜひご参照下さい。

[!\[\]\(870f5d5e9c0d57485634be3ecf52f3ca_img.jpg\) 国内留学のススメ \(スライド資料\)](#)

高大連携プログラム

SBMC Junior ビジネスアイデア発表会に参加しました

11月18日、芝浦工業大学と4つの高校（山脇学園・昭和女子大学附属昭和・芝浦工業大学附属・芝浦工業大学附属柏）が参画する SBMC Junior のビジネスアイデア発表会が開催され、本校からは中3～高2合わせて参加校中最多の7チーム20名が参加しました。

各校の生徒がこの日のために準備をしてきたビジネスアイデアを発表する中、英語専門に特化した次世代家庭教師プログラムを提案したチーム「Smile Education」、山林を相続した高齢者をターゲットにした管理委託事業を提案したチーム「Involver」が参加者からの投票で選ばれる「特別賞」を受賞しました。



また、アプリで農家を助けお得に商品が買えるサービスを提案したチーム「フォッオレ」、廃棄衣料と廃棄野菜をエコ商品として再生させるビジネスアイデアを考えたチーム Grace が、専門家によるメンターチームから選ばれる「ビジネスアイデア賞」を受賞しました。

アントレプレナーシップに関心が高い生徒たちが集まるイベントであったため、それぞれの発表に対する参加生徒間の質疑応答も白熱し、お互いに良い刺激を受ける経験となったようです。

※ SBMC Junior は、芝浦工業大学が共同機関として参画する GTIE として、文部科学省・JST の EDGE-PRIME Initiative の採択を受け、芝浦工業大学が実施する中高生向けのアントレプレナーシップ教育プログラムです。

高大連携プログラム

北里大学 白金キャンパス見学会を実施しました

12月11日(月)、高校1年生と2年生の希望者を対象とした北里大学白金キャンパス見学会を実施しました。

北里大学には医学部や看護学部のある相模原キャンパス、獣医学部のある十和田キャンパスと、白金キャンパスの3つキャンパスがあります。このうち北里大学発祥の地である白金キャンパスでは、現在、薬学部の2年次以降の学生が学んでいます。

最初に、キャンパス内にある模擬薬局、大学図書館、北里柴三郎記念館などの施設を見学しました。入り口には、北里研究所所長で2015年にノーベル生理学を受賞した大村先生の等身大パネルも。

見学後は、生命薬化学研究室 教授の藤井 秀明先生が北里大学と薬学部についての説明をしてくださいました。6年制と4年制の薬学部の学びの特色の違いや、新たな医薬品のもととなる化合物を発見してから新薬が作られるまでの過程についてなど、普段の高校生活では知る機会の少ない貴重なお話を伺うことができました。



説明会後は先生のご厚意で藤井先生の研究室も覗かせていただきました。実際の研究機材や薬品、実際に学生の皆さんが研究や実験をしている様子も見学させていただきました。

引率教員も含め、参加者にとってとても有意義な機会となりました。

高大連携プログラム

SBMC Junior 先進地域視察に参加しました

12月18日(月)、スタートアップ企業やそれらを支える施設や機関を見学する「SBMC Junior 先進地域視察」を実施し、山脇学園と芝浦工業大学付属の希望生徒で企業、施設見学を行いました。

午前9時に日本橋に集合して、最初に訪問したのは、スタートアップ企業の「将来宇宙輸送システム株式会社」です。2030年代に有人宇宙輸送機を開発・運用を目指している企業で、文部科学省中小企業イノベーション創出推進事業(SBIR フェーズ3)宇宙分野(事業テーマ:民間ロケットの開発・実証)に採択されるなど注目されている企業です。

参加生徒には、代表取締役の畑田康二郎社長から、現在考えている宇宙輸送機の大きさや想定している宇宙滞在時間、搭乗にあたっての特別な訓練の必要の有無、1フライトあたりでの目標利益などの条件が示された上で、「ビジネスとして成り立つ魅力的な宇宙旅行プラン」のアイデアを考えるとというグループワーク課題が与えられ、即席の2校混成チームで話し合いながらアイデアを考え、発表しました。

2つ目の訪問先は「一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(Link-J)」です。イノベーションを起こすためには人や組織の交流が大切であるというお話や、未上場の新興企業に投資を行うベンチャーキャピタルの方のお話を聞きました。

午後は川崎市の「かながわサイエンスパーク(KSP)」に移動し、起業家を支える様々な設備や施設を見学しました。また、これからまさに事業を起こそうとしている起業家の方とオンラインで繋いで「起業して良かったこと」「起業して

大変に思うこと」など生徒からの率直な質問に答えていただくという機会もいただきました。

イノベーションの最前線に触れる刺激的な1日となりました。



高大連携プログラム

東京農大「大学の学び」体験会実施しました

12月22日（金）、東京農業大学世田谷キャンパスで「大学の学び」体験会を実施しました。このイベントは山脇学園の中高生やその保護者の方が農学系の学びについて知るための機会として昨年度より実施しているものです。

今年は、中学2年生から高校2年生まで生徒、保護者合わせて54名の方が参加しました。

応用生物科学部の講義では「健康と機能性食品」、「伝統発酵の不思議」「貧血に関する鉄について」といった身近な食や健康に関するテーマの講義や、「東京農業大学こめプロジェクト研究」に関する講義が開講されました。



生命科学部の実験実習では、バイオサイエンス学科、分子生命化学科、分子微生物学科の3つのグループに分かれて、タンパク質の結晶化や、カラムクロマトグラフィーを使った色素の分離、コンピュータを使った微生物のゲノム解析などに取り組みました。

参加した生徒からは「模擬講義は難しいのかなと思っていましたが、先生方が分かりやすく教えて頂き勉強になりました」「大学に直接行き大学について少し触れたおかげで大学について少し考えるきっかけにもなれたので良かった」といった感想が寄せられました。

高大連携プログラム

GTIE アントレプレナーシップ 成果発表会に参加しました

12月26日、渋谷スクランブルスクエア QWSでGTIE(Great Tokyo Innovation Ecosystem)のイベント「高校生がやってみた！アントレプレナーシッププログラム成果報告会」が開催されました。

GTIEは東京大学、早稲田大学、東京工業大学を主幹機関とした「世界を変える大学発スタートアップを育てる」プラットフォームで、今回は、アントレプレナーシップ教育のすそ野拡大を目的とした高校生によるビジネスアイデアコンテストの開催となりました。

全国の子選を勝ち抜いたチーム、千葉大学、早稲田大学などの推薦チーム、SBMC Juniorの推薦チームが参加。

山脇学園からは11月18日の発表会でビジネスアイデア賞を受賞したチーム「Grace」が参戦しました。受賞は惜しくも逃しましたが、大学の先生や、専門家や起業家など錚々たる聴衆を前に堂々した発表でした。

また、イベントでは早稲田大学高校生シリコンバレー派遣留学プログラムの高校生の紹介もありました。応募総数400名以上、40倍を超える厳しい競争の末に選ばれた10名の1人として

山脇の高校2年生の名前が紹介されました。

こうしたイベントを含め、様々な機会を通して世界に羽ばたく山脇生が増えてくれることを期待しています。



Studyplus から Studylog に移行しました

生徒用 iPad に入れて使用していた学習管理アプリ StudyplusWE B 版に、12 月 11 日（月）より、これまで搭載されていなかった SNS 機能を加わる仕様変更がありました。山脇学園では、本人の私生活、友人関係、学校での生活等を書き込む SNS を禁止しているため、仕様変更前のホームルームの時間に、生徒用 iPad に入っているアプリをスタディプラスから SNS 機能を除いた姉妹版アプリである Studylog に切り替える作業を行いました。

なお、移行措置後も生徒が個人端末（スマートフォン等）にスタディプラスをダウンロードして使用することはシステム上可能です。生徒の個人端末へのアプリのダウンロード・使用については各ご家庭の責任・判断で安全管理を行って下さい。

[!\[\]\(a870788d6ed9b8fd294b7654a8c8526b_img.jpg\) Studyplus から Studylog への移行のお知らせ](#)

冬期講習 実施報告

冬期講習では、中1～3および高2向けの全40講座を開講、高3は受験前最後の企画として共通テストプレを実施しました。延べ1,904名、冬は1タームのみの実施だったにもかかわらず1人あ

たり平均2.2講座の参加があり、各々に必要な講座、通常の授業では行えない実験などを通じて様々な学びを得ました。

春期講習は3/23～26の3日間。2月には募集がスタートします。こちらもぜひ積極的に参加しましょう。

	開講講座数	申込者数	参加延べ人数
中1	5	219	631
中2	5	208	518
中3	7	134	265
高2	15	167	369
高3	1	121	121
英検(学年混合)	7	各学年に含む	//

冬期講習 開講講座数・申込者数・参加延べ人数

高校2年生を対象とした総合・推薦型セミナーを実施しました

1月17日、高校2年HRの時間に総合・推薦型選抜セミナーを実施しました。

国公立大、私立大を問わず総合・推薦型選抜の募集枠が拡大するなか、本校生も総合・推薦型選抜で大学を受験する生徒が年々増えています。今年度入試でも、総合・推薦型選抜で年内に進路が内定した生徒が多くいます。

その一方で「学科試験がない入試」「活動実績重視の入試」というイメージが世の中で広がっているせいで、安易な気持ちで総合・推薦型選抜を目指すケースも増えてきています。

総合・推薦型選抜は多様な能力が評価される点で一定のメリットのある入試です。その一方で、大学・選抜方式の選び方や準備の進め方によっては、総合・推薦型選抜へのチャレンジがかえってピンチを招くケースにも繋がります。

本セミナーでは総合・推薦型選抜のメリットもデメリットも含めて、失敗しやすいパターンやおすすめの大学グループ・志望系統ケースなどについて解説しています。進路選びのご参考としてお役立て下さい。

[!\[\]\(166772600a13ad0a433053f90fe45649_img.jpg\) 総合・推薦型選抜セミナー（スライド）](#)

[!\[\]\(291e070cef6c4d5e78fefe4696ef53be_img.jpg\) 総合・推薦型選抜セミナー（動画）](#)

SSI (Self Study Island) 便り

■自習室利用促進キャンペーン実施報告

第4号でもお伝えした通り、SSIでは各定期考査前に自習室利用促進キャンペーンを開催しています。2学期期末考査前も11/10～24に開催し、上記期間の利用時間が15Hを超えた27人の生徒が2枚、10Hを超えた32人の生徒が1枚の座席優先予約チケットを獲得しました。

SSIでは数百冊の参考書や問題集が利用可能で、更に他の人が真剣に学ぶ姿がお互いの励みになるという「学びの相乗効果」を生む環境となっています。放課後はSSIで勉強、というスタイルが生徒の皆さんにも浸透しつつあるようです。積極的に利用し効果的な学習につなげることを期待します。

■Studyplus S-1 グランプリ 2023 Winter

夏季休暇に引き続き、冬期休暇中の12/18～1/7の3週間にわたって、Studyplusでの学習時間を競うS-1グランプリウィンターが開催されました。全国の同学年の生徒たちと競った結果、本校からは29人の生徒が各学年の全国トップ100位以内に入賞しました。

生徒の皆さんにはGoogle Classroomを通じて随時、入賞している人達の学習時間ラインをお知らせしました。いずれ競い合うこととなる未だ見ぬライバル達がどのように学習に取り組んでいるのか。そんな視点でお知らせを意識してみると、励みになるかもしれません。

■3号館2階 SSIエリア廊下のリニューアル

12月初めに3号館2階SSIエリア廊下の床の張り替え工事を行いました。

新しい床材に用いられたのはリノリウムという、亜麻仁油・ロジン・木炭・石灰岩といった天然素材から作られた素材です。抗菌・抗ウイルス・脱臭・抗アレルギー性に優れ、人にも環境にも優しいため「カーボンニュートラル」の観点から注目され公共施設や病院などでも多く用いられています。



SSIでは生徒の皆さんにとって居心地がよく学習に集中できる環境づくりに日々奮闘中です。春休みには新たなリニューアル工事も予定されています。ご期待下さい。

学力テスト・模擬試験

2月～3月実施の学力テスト・模擬試験のスケジュールです。学校での受験です。

学年	業者	学力テスト・模擬試験	実施日
高2	ベネッセ	共通テスト模試	2月6日
			2月7日

学習進路関係イベント

2月～3月の学習進路関連イベントのスケジュールです。生徒対象のものについては、当日に配布した資料などを通してプログラムの内容をご家庭で共有してください

学年	対象	イベント	実施日
高2生徒[希望者]		総合・推薦型選抜相談会(仮)	2月10日
生徒・保護者[希望者]		理系国立大学について知ろう！ 室蘭工業大学 説明会*	2月24日
高1生徒		キャリア講演会 (法政大学・佐伯英子先生)	3月12日
生徒・保護者[希望者]		関西大・関西学院大・同志社大 合同進学相談会(仮)	3月12日

*ご案内プリント、お申込みはこちらから

[☞ 室蘭工業大学 説明会のご案内](#)

『学習進路通信』のバックナンバーはこちらから
[在校生・保護者の皆様へ > 進路情報](#)